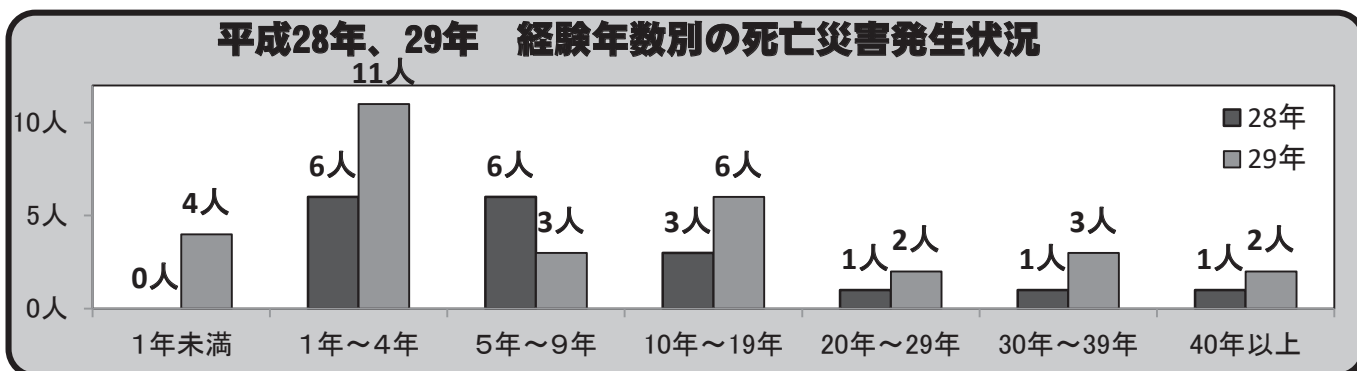
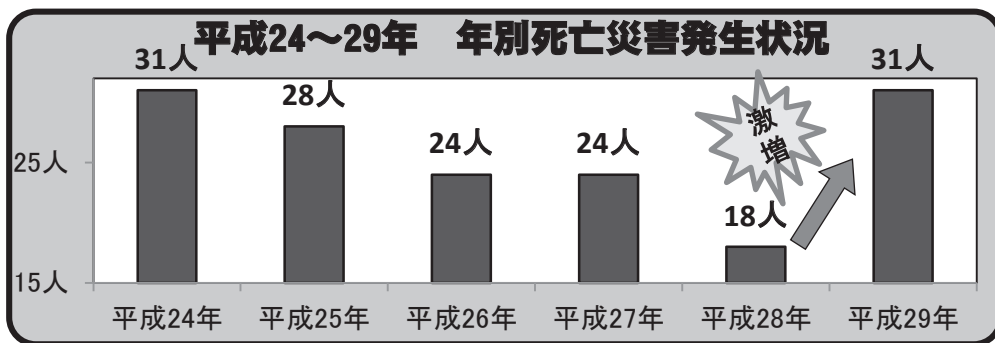


安全衛生教育の着実な実施を

平成29年は31人の労働者がお亡くなりになりました。平成28年の18人と比較すると大きく増加しています。中でも特徴的なのは、経験の浅い労働者が多く被災していることで、経験1年未満では0人から4人になっています。

4月は新入社員や、転勤などで作業内容が変更となる労働者が多くなります。そのような労働者は職場内のルールや職場に潜む危険を知らなかったり、危険を予知するための訓練を受けていなかったりします。雇い入れ時等の安全衛生教育は着実に実施していただくようお願いいたします。



【平成29年 死亡災害事例】

【経験年数1年未満の労働者の死亡災害】

発生月	性別	年齢	事故の型	起因物	災害発生状況
2月	男	40歳代	はさまれ、巻き込まれ	トラック	運転していたトラック(20t)が積雪のため立往生し、被災者が1人でタイヤにタイヤチェーンを装着しようとしたところ、タイヤに巻き込まれた。
3月	男	20歳代	転倒	フォークリフト	フォークリフトに荷を積載しフォークを上昇させたままの状態の後進し旋回したところ、転倒し下敷きになった。
7月	男	20歳代	高温・低温の物との接触	高温・低温環境	屋根上で金属製スレートカバーを運搬する作業を行っていたが、作業が終了し地上にて点呼を行った。その後、屋根上で意識を失った被災者が発見された。(熱中症)
10月	男	30歳代	激突され	クレーン	鉄板(約500kg)にハッカーを掛け、2.8t天井クレーンで、吊り上げたところ、荷が被災者の方に振れて、鋼材の山と吊荷に被災者が挟まれた。

【経験年数1年～4年の労働者の死亡災害事例】

4月	男	30歳代	有害物等との接触	異常環境等	台船の船内に立ち入ったところ、内部が酸素欠乏状態となっていた。[外国人労働者]救助に入った外国人労働者も被災した。
7月	男	20歳代	墜落、転落	高所作業車	塗装作業中、高所作業車が逃走し高所作業車ごと約5メートル下の船台に転落した。
8月	男	50歳代	高温・低温の物との接触	高温・低温環境	市道の除草作業を終日行って会社に戻り、その後、事業場敷地内の駐輪場で意識不明の状態で見つかるのを発見され、2ヶ月弱入院していたが、9月下旬に死亡した。(熱中症)
10月	男	20歳代	はさまれ、巻き込まれ	フォークリフト	カキ篋の運搬作業を終えて、漁船に戻る際、海に転落しスクリューに巻き込まれたもの。
10月	男	60歳代	墜落、転落	建築物	碎石場内に構築したブロック積み法面の補修で、転圧を行っていたところ、法面が崩壊し、ドラッグ・ショベル、タンパーとともに転落し生き埋めになった。